

一般社団法人管路診断コンサルタント協会  
代表理事（会長） 角田五郎



近年、下水道ストックの老朽化が確実に進行しており、下水道が今後もあって当たり前のインフラであり続けるために、それらの維持管理・更新、そして健全な経営を限られた人員、財源において実施していかなければなりません。

管診協は、2016年に「下水道管路施設改築・修繕に関するコンサルティング・マニュアル」を全面改訂し発刊、2017年に「下水道ストックマネジメント計画（マンホール蓋）編」を発刊しました。これらには下水道総合地震対策や下水道BCPおよびマンホール蓋のSM計画などを記載し、下水道施設のストックマネジメント実施に総合的に活用できるよう編纂してあります。

このように管路診断コンサルティングサービスを提供しつづけ、安全で安心な満足のゆく事業の展開のために、下水道に携わる皆様と連携を深め社会に貢献していく所存です。